

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にす児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第700号
令和5年7月20日

祝 せんだん700号

校長 山岸 修

この上戸小学校の学校だより「せんだん」も記念すべき第700号となりました。第700号があるとなれば、第1号があったはずで、何年前になるのでしょうか。

1月（ひとつき）に1回発行したとすると、1年で12回発行することになります。

$700 \div 12 = 58$ あまり4 ということは月1回発行したら、700号を発行するためには58年と4か月かかることになります。700号で2023年の8月号なので、単純計算でいくと、第1号が発行されたのは1965年（昭和40年）の5月号が第1号となります。

実際のところどうなのか、調べてみました。

すると、発刊当初から約330号ぐらいまでは、校長室の戸棚の奥深くにファイルに綴られて残っていました。第1号と第2号は綴られていませんが第3号からは綴られていました。第3号が発行されたのは、1959年（昭和34年）6月10日です。

今から約64年前です。B5版1枚の大きさで青いインクの小さい字で印刷されています。いわゆるガリ版刷りというものです。とすると、第1号が発行されたのは、1959年（昭和34年）の4月だと予測できます。つまりこの700号続いた学校だよりは、1959年度（昭和34年度）から始まったということです。その当時小学1年生だった方は現在71歳、また当時6年生だった方は現在77歳ということになります。

昭和50年代までは、夏休みは発行されていませんでした。また、月1回どころか月3回発行されていた年もありましたし、1回も発行されなかった年もありました。

発行当初は「学校だより」でした。この学校だよりが「せんだん」という名前になったのは第270号（1983年4月15日発行（昭和58年度））からです。つまり、今からちょうど40年前になり、上戸すこやか会が発足した年度になります。



現存する最古の上戸小学校「学校だより」 第3号 1959年（昭和34年）6月10日発行

学校だよりは、いくつかの大事な役割を果たしてきたと考えます。

1つ目は、「伝える」ということです。地域や家庭に教育に関する情報や学校の考え方・取り組みを伝え続けてきました。

2つ目は、「つなぐ」ということです。学校だよりは家庭・地域と学校の絆を深める役割も果たしてきたと思います。上戸小学校は地域・家庭と常に連携しながら、地域・家庭の皆様の支えと協力によって成長・発展し、現在に至っています。

3つ目は、「記録する」ということです。学校だよりを発行することはつまり、学校の歴史を記録することです。この第700号の発行は、まさしく上戸小学校の歴史と成長・発展の証といえます。

私たち上戸小学校の教職員は、本校のさらなる成長・発展のために努力を重ねながら、以上の大事な役割を果たせるよう、かといつてあまり気負うことなく、この学校だより「せんだん」を発行し続けていきたいと思えます。

最後になりましたが、これまで学校だよりの発行に携わった方々の計り知れない情熱と努力に対して敬意を表するとともに、これまで関わってきたすべての方々に心から感謝を申し上げ、珠洲市立上戸小学校 学校だより「せんだん」第700号を心からお祝いたします。上戸地区の皆様、今後とも何卒、よろしく願いたします。

☆泉秀芳堂さん

6月16日に3・4年生が、社会の学習で泉秀芳堂さんの工場見学に行きました。工場の中には生地や餡子、いろいろな機械がありました。その中で、餡子が入った生地を整えるための機械に乗せる作業を体験させていただきました。最後はできたのいも菓子と包装した商品のいも菓子を試食させていただき、味の違いを実感していました。

7月10日は5・6年生が、総合の学習としてかきもちのことをもっと知るために工場見学に行きました。今後は、上戸の自慢「かきもち」の普及のために取組を進めていきます。

地域に伝わるお菓子を守ってきた方の思いに触れることで、地域のよさをまた一つ発見できた活動となりました。上戸の子ども達のために貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



☆オンノキバ

7月1日は上戸地区の伝統行事「オンノキバ」の日です。この日のために子供達は、かきもちを丁寧に箱詰めしたり、シールを貼ったりしました。そして、地区の高齢者宅を訪れ、無病息災を願いました。

☆親子活動・海水浴場設営

7月15日は健民体育館で親子行事「キンボール」を行いました。初体験の人も多かったのですが、すぐにルールに慣れ、親子でプレーを楽しみました。たくさん汗をかきましたが、親子の絆が深まった日となりました。その後、海水浴場も設置しました。この日は波が高く、テントのみの設置でしたが、日を改めて海のブイの設置作業もしていただきました。皆様、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

保護者の方から

すこやか会活動で子供達と一緒に工作等しています。同じ材料でも自分の好みのものを見つけてオリジナリティ溢れるとっておきが出来上がります。子供達の柔らかい発想に感心しアイデアやエネルギーに刺激を沢山もらっています。先生方や友達、地域の方のおかげで小さな世界がどんどん広がっていると思います。

4年学年委員 加須屋 かおり



北国俳壇【6月】

秀作:心から 手紙書いたよ 母の日に 2年 荒木 美帆
こどもの日 じしんがあった こわかった 2年 中野煌有司
佳作:いもうとの はがはえてきた ははの日に 2年 吉森 心
家の庭 もっこうばらが 咲きみだれ 4年 加須屋依里

8月 行事予定	
4日(金)	親子議会 
9日(水)	全校登校日① 平和教育集会
11日(金)	山の日 学校閉庁日(～17日)
18日(金)	安全点検
25日(金)	全校登校日②
*42日間の長いお休みとなります。体調管理を十分に行い、楽しい有意義な夏休みにしましょう!!	

1年生

ありがとう、〇〇さん

かんたくん、なわとびをおしえてくれてありがとう。わたしもかんたくんみたいにとべるようになるね。バスケ、がんばってね。またいっしょにやろうね。だいすき。

(吾郷 友梨奈)

みちよせんせい、やさしくべんきょうをおしえてくれてありがとうございます。せんせいがいてくれて、がっこうがすきになりました。これからもよろしくね。

(角 珠々葉)

いちかさん、いつも「あそぼう。」とさそって来て、ありがとうございます。とてもたのしいです。かわりおにや、こおりおにで、またいっぱいあそぼうね。(三上 咲良)

こうちょうせんせい、いつもぼどみんとんをいっしょにしてくれてありがとうございます。うつのがだんだんじょうずになってきました。とてもたのしいです。

(角野 晴隆)

あみちゃん、やすみじかん、おにごっこにさそって来てくれてありがとう。いっしょにあそんでくれたたのしかったよ。また、みんなでおにごっこをしようね。(柚 みつめ)



2年生

私が、ありがとうをつたえたい人は、千ず子さんです。ありがとうをつたえたいわけは、この前、じゅぎょう中に、私がおとしたえんぴつをおとした時に、ひろってくれたからです。本当にありがとうございました。(荒木 美帆)

わたしがありがとうをつたえたい人は、たまさんです。わけは、いつもじゃがいもやきゅうりをくれるからです。ふゆになって、雪がつもったとき、雪かきをてつだってくれるからです。(蟬 千珠子)

わたしがありがとうをつたえたい人は、あみさんです。わけは、そうじのじかん、わたしがぞうきんについているほこりを、どこではらおうかまよっていたとき、あみさんがすみっこにはらっていいよと教えてくれたからです。(川端 純怜)

ぼくが、ありがとうをつたえたい人は、ゆりなさんです。わけは、ゆりなさんにバスケットを教えてあげたとき、「ありがとう。」と言ってくれたからです。自分も心の中で「どういたしまして。」と言いました。

(三上 寛太)

かん太さん、いつもあそんでくれてありがとう。わけは、いつもいっしょにあそんでくれるからです。かん太さんのおかげであそぶとき、あいてがないときにいつでもあそんでくれるので、うれしいです。

(寺下 蓮輝)

かんたさん、ありがとう。いっしょにあそんでくれてありがとうをつたえたいです。わけは、キャッチボールをしてくれたからです。またいっしょにしたいです。

(中野 煌有司)

まこさん、いつもやさしくしてくれてありがとう。まこさんのやさしくて、わらってるところをみると、わたしも元気がもらえるよ。まこさんは、ずっとずっとやさしいままでいてください。(盛 初叶)

かんたさんに、いつもありがとうをつたえたいです。わけは、いつもあそんでくれたり、あそぶのにさそってくれたりするからです。ぼくもいっしょになかよくあそびたいです。(吉森 心)

3・4年生

施設めぐりをふりかえって

すずなり館ではしおを売っていました。花のしおもあってびっくりしました。けいさつかんとしょうぼうしの人をたすける仕事をしているのでやっぱりかっこいいなと思いました。(吾郷 梨愛奈)

珠洲消防署に行きました。火事がおこったとき、1分で着がえられるとわかりました。珠洲警察署では、60人ほどはたらいているとわかりました。ちいきの人のためにパトロールをしていました。(紺谷 洗斗)

市役所で人口問題の話の話を聞きました。珠洲市ができた時と今ではだいぶ減っていると言っていました。私は、この問題は近いうち解決できるのかな?とも思ったし、この問題は大変そうだなとも思いました。

(加須屋 依里)

珠洲市役所でわかったことは、220人の人が働いていることです。珠洲市を支えるためにたくさんの方が働いてくれていると思いました。奥能登クリーンセンターでは、ごみピットのことがわかりました。

(三上 逢海)

奥能登クリーンセンターでわかったことは、埋め立て処分場は石川県に19個あることです。最初は20個ぐらいだと思ったのでとてもびっくりしました。(福田 彩蓮)

奥能登クリーンセンターは、とても広くてきれいでした。ペットボトルや缶を固めて四角形にしてたくさん持っていけるように工夫していました。すごいなと思いました。(谷内口 優月)

5・6年生

〇〇さん、ありがとう

ぼくは松本先生に感謝したいです。理由は算数の時間に、分からない問題を優しく教えてもらったからです。おかげで問題が解けたのでうれしかったです。だから松本先生に感謝したいです。(家根 大翔)

りつこばあちゃん、遊びに行く時に優しくしてくれて感謝しています。ぼくは、ばあちゃんのおかげで勇気が出ます。いつも遊びに行ったら、りんごをむいてくれてありがとう。お店で何でも買ってくれてありがとう。(徳力 海来)

ぼくは祖母に感謝したいです。祖母はいつもぼくたちにご飯を作ってくれます。それもほとんど座らずにしてくれます。食べた後も、皿洗いや洗濯干しもしてくれます。祖母のおかげでぼくたち家族は暮らせています。今度ありがとうと言いたいです。

(油谷 友希)

お父さん、ありがとう。なぜなら、いつも音読を聞いてくれるからです。お母さんもありがとう。おいしいご飯を毎日食べられるから、最高にいい気分です。二人のおかげで、いい毎日を過ごせています。お父さんとお母さんにとっても感謝しています。一人でもできることも増やしていきたいです。

(初鳥 風音)

私はいつも登校を見守ってくれる方に感謝したいです。私が登校する時に通る交差点に、いつも立ってくれています。明るい声で「おはようございます。」と言ってくれます。だから、学校へ行く時の一つの楽しみになっています。(谷内 菜子)